

BOOK REVIEW

ブック・レビュー

すべての社会人に使えるスキル 実践して、本物のスキルとなる

「管理職」という立場になったが、部下は思ったとおりに働いてくれない。イライラは募る……。そんな時にふと立ちどまり、「なぜ部下は思ったとおりに働かないのか」を考えてみると、その理由に気づく。

そこで指示を改め、改善に結びつける。それを職場のさまざまな局面で繰り返し、仕事をスムーズに進め、こなしていく。そうした気づきは、管理職としてのスキルにつながっていく。

本書のタイトルは「課長のスキル」だが、課長や管理職だけではなく、新入社員からベテランまで、どのような業種や職種でも使える70のビジネス・スキルを解説している。

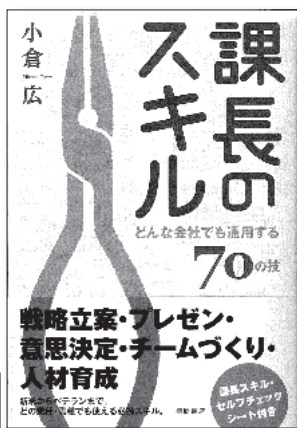
戦略立案、プレゼン、意思決定、チーム作り、人材育成など全7章で構成。ビジネス・スキルの事例は、実際に起こった著者のエピソードも交えて解説し、リアルで実践的だ。また、丁寧な語り口で非常に読みやすく、図表も豊富でわかりやすい。

著者は、「知識を蓄えているだけでは何にもならない。大切なことは、必要な場面と必要なスキルとを神経回路でつないでおくこと。“使いこなす”スキルを1つでも増やしてほしい」と締めくくる。

仕事に役立ち、「使いこなす」スキルとは、実践してつかむもの。本書には、著者の実体験によるヒントが豊富に盛り込まれている。ぜひ、身につけたい。

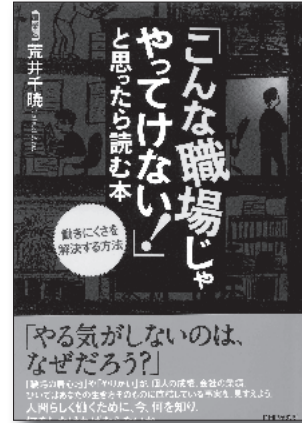
課長のスキル
どんな会社でも通用する
70の技

定価
1400円＋税
小倉徳間書店 著



先着3名様にプレゼント
ご希望の方は住所・氏名・年齢、勤務先を明記し、下記メールへお申し込みください。
editor@opi-nion.co.jp

「こんな職場じゃやってけない!」 と思ったら読む本 働きにくさを解決する方法



定価
1300円＋税
荒井千晩研究所 著

職場環境と心の健康の関係性 現代社会が抱える問題を分析

「こんな職場じゃやってられない」「会社、辞めてやる」「上司をどこかへ飛ばしちゃえ」――。サラリーマン酒場で繰り返されるグチと悪口、翌朝は悪酔いで頭がズキズキ。身に覚えのある人も多いのでは。職場の違和感、働きにくさの原因とは何か。いま、職場で何が起きているのか。

酒でウサを晴らせる人はともかく、現代の職場には心身を病んでいる人たちが増えている。とりわけ、働き盛りの20～30代に多く、職場環境と心の健康の関係性が浮かび上がってくる。

著者は、そんな実態を近くで見守る企業の産業医。心を病んだサラリーマンと向き合い、その原因を探った結果、「成果主義」「目標管理制度」というシステムにたどりついた。本書では、「成果主義」「目標管理制度」のシステムが定着した理由や経過を追究し、現代社会が抱える問題を分析している。

日本では1998年以来、毎年の自殺者が10年以上にわたって3万人を超えている。バブル崩壊やリーマン・ショックなどの経済状況の悪化が、そのまま自殺者増加に直結していることが理由の1つに挙げられている。

心の病が休職、退職へとつながり、元の世界に戻りにくいといった特徴が日本にはあり、だから、働き盛りの若者からドミノ倒しのように崩れていくと著者は指摘する。